

一関市議会 広聴広報委員会 記録

会議年月日	令和4年11月29日(火)			
会議時間	開会	午後1時30分	閉会	午後2時49分
場 所	第2委員会室			
出席委員	委員長	門 馬 功	副委員長	岩 渕 優
	委 員	那 須 勇	委 員	佐藤 真由美
	委 員	菅 原 行 奈	委 員	岩 渕 典 仁
	委 員	佐藤 敬一郎	委 員	猪 股 晃
	委 員	千 田 良 一		
遅 刻	遅 刻 なし			
早 退	早 退 なし			
欠席委員	欠 席 なし			
事務局職員	細川次長兼庶務係長、熊谷局長補佐兼調査係長、千葉主事			
本日の会議に 付した事件	<ul style="list-style-type: none"> ・議会だより第72号の紙面構成等について ・議会だよりのリニューアルについて ・市民と議員の懇談会について 			
議事の経過	別紙のとおり			

広聴広報委員会記録

令和4年11月29日

(午後1時30分 開会)

委員長 : ただいまの出席委員は9名であります。
全員の出席ですので、これより本日の委員会を開会します。
録画、録音、写真撮影を許可しておりますので、御了承願います。
これより議事に入ります。
第72号の議会だよりの紙面構成等についてを議題といたします。
書記より内容について説明させます。
暫時休憩します。

(休憩 13:30~13:34)

委員長 : 再開します。
編集日程についてまずお話ししたいと思います。
事務局に聞きたいのだけれども、3月1日号で一般質問の粗原稿を送付すると。
この送付というのはどこに送付するのですか。
千葉書記。

千葉書記 : 各議員にお送りします。

委員長 : 粗々原稿は12日に出して、そして粗原稿は26日に出すということですね。
粗原稿が出て2日に出すと、中1日に出すということですね。
千葉書記。

千葉書記 : そのとおりです。

委員長 : 分かりました。
それでは、日程等についてお話ししたいと思います。
どちらでいくかという話です。
事務局のほうからは印刷会社の年末年始休業の関係等々の話が出ていますけれども、これを見ると、2月1日号だと要するに委員会ができないような状況にあるということでもあります。
チェックが入らないという、集まってチェックを入れることができない。
通常からいくと、チェックは今までも1回は入っていたということですが、
この流れからいくと3月1日だと思えますけれども、皆さんの御意見はどうですか。
違った意見があれば頂きたいと思います。
那須委員。

那須委員：委員長からもお話があったことに関して、委員会での校正と言いますか、確認と言いますか、やはり必要かと思えます。

そういった意味では2月1日号の発行だと、このスケジュール的には無理ということから、私はやはり発行までには一度委員会を開催して確認すべきだと思いますので、となると、3月1日号での発行準備が適切なのかというように判断しますが、いかがでしょうか。

委員長：那須委員から3月1日発行ということで意見を頂きましたが、そのほかありませんか。

(「なし」の声あり)

委員長：ないようですので、3月1日発行ということでよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

委員長：異議ありませんので、3月1日発行ということで決定いたします。
次に、掲載記事の内容についてお話ししたいと思えます。
内容は24ページの事務局案ということでよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

委員長：異議ありませんので、記事の内容についてはそのように決定したいと思います。
次に、記事の割当てについてお話ししたいと思います。
まず表紙についてですけれども、東山地域。
菅原委員。

菅原委員：私が担当します。

委員長：分かりました。
それから、通常会議報告等は千田良一委員にお願いしたいと思います。
臨時会議については、那須委員にお願いします。
市民の声、千厩地域と室根地域です。
岩淵典仁委員。

岩淵(典)委員：私が室根地域を担当します。

委員長：室根地域は岩淵典仁委員にお願いします。
千厩地域はどなたかお願いできますか。
菅原委員。

菅原委員：前回、私は千厩地域の女性の方を担当いたしました。

そのときもやはり室根地域と一緒にいたのです。

議会だより第 64 号を見ていただくと分かるのですが、室根地域は岩淵典仁委員が担当いたしました。

千厩地域は女性で、室根地域は男性だったので、今度は千厩地域が男性、室根地域は女性がよろしいと思います。

委員長：今のは参考にさせていただくということで、まずは千厩地域の担当を決めていただいて、あとは、担当者同士で決めていただくという今までの流れですので、千厩地域の担当の方を決めたいと思います。

岩淵優委員。

岩淵(優)委員：私が担当します。

委員長：千厩地域は岩淵優委員をお願いします。

次に、あんなとこ・こんなとこは花泉地域です。

佐藤敬一郎委員。

佐藤(敬)委員：私が担当します。

委員長：あんなとこ・こんなとこは、佐藤敬一郎委員をお願いします。

後書きは、佐藤真由美委員をお願いします。

再確認したいと思います。

議会だより第 72 号の紙面構成は、発行日が令和 5 年 3 月 1 日。

掲載ページ数は 24 ページ。

記事の担当、表紙は菅原行奈委員。

通常会議報告は千田良一委員。

臨時会議報告は、那須勇委員。

市民の声、千厩地域は岩淵優委員で女性。

室根地域は岩淵典仁委員で男性をお願いします。

あんなとこ・こんなとこ、佐藤敬一郎委員。

後書き、佐藤真由美委員。

校了日は 2 月 14 日です。

その他、議会だよりについて何かございませんか。

(「なし」の声あり)

委員長：ないようですので、以上で、第 72 号の議会だよりの紙面構成等についての協議を終わります。

次に、議会だよりのリニューアルについてを議題といたします。

書記より内容について説明させます。

暫時休憩します。

(休憩 13 : 44～13 : 51)

委員長 : 再開します。

これより意見交換を行います。

今、説明いただいた内容についての質問等々もあれば、併せてお願いしたいと思います。

休憩します。

(休憩 13 : 51～13 : 57)

委員長 : 再開します。

議会報の見直しに向けたリニューアルについての関係ですけれども、皆さんから意見等があれば頂きたいと思います。

先ほどの事務局の案のとおり進めてみようというのであれば、そのとおりということになります。

猪股委員。

猪股委員 : 今回、1月6日の議会だよりの議会における効果的な広報の仕方というような部分でのお話かと思うのですが、議会だよりに限った話ではないのですよね。

私たちが議論する、何ページに集約するかということも含めて、議会報のあるべき姿みたいなことを何も学んでいない中で進めていいのか思うところもあるのです。

それだけでなくもある程度、今までやってきた中で課題は整理されていると。

それから、ほかの広報も見ながら、方向性としてはこのようなことで、やはりやるべきだというような流れもあるので、あえてそこまでやらないという選択肢もあるのかと思いますが、その辺の資質が少し私自身としては足りないなと思うところがあるので、できればそういうことも組み合わせて、今後の方向性の議論をしていったほうがいいのか思うところがあるのですが、いかがでしょうか。

委員長 : 今回は議会報をはじめとした、それから、これが1番、2番目が情報発信ということの在り方ということですので、どちらかといえば、1番目に議会報ということで、こちらのほうが若干強く出るのかというような思いはあります。

ただ、技術的な問題で、もっと知りたいというのであれば、それもまた、1回目を聞いて考えていけばいいのかというように思いますけれども、皆さんのほうで何か御意見ございますか。

細川書記。

細川書記 : こちらが今度お呼びしようと思っているところの講師の研修の際の資料なのですが、こちらは本当に広報に特化したというか、広報だけではなくて、ホームページの編集であったりとか、こういう内容になるのかと思います。

内容的には、議会報の企画、編集という部分も入っていますし、あとは、一般質問についての要素とか見出しという部分も入っていたりするので、こういうことも取り入れてお話ししていただきたいと思っていました。

どうしても、全議員を対象とするので、全部、2時間全て広報の内容ということにはできないものですから、できるだけこういう広報の内容、あとは先進地の紹介、先進事例の紹介であったりとかというものも取り入れていただきたいと考えておりました。

多分、講師の方との交渉の仕方だと思うのですが、どうしても2時間で、金額的なことを言いますけれども、7万円なのだそうです。

プラス、こちらに来るための交通費ということで10万円近くかけて来ていただくものですから、ぜひ全議員にできるだけ聞いていただきたいと思います。

委員長：まずは聞いてみるという方向で進めたいと思いますけれども、よろしいですか。
猪股委員。

猪股委員：せっかくそういう形で講師とのつながりができるのであれば、ある程度、私たちが議論する中で何か悩みとか課題とかが出てきたときにはアドバイスとかも頂くというようなことも含めて対応していただければいいのかと思います。

委員長：那須委員。

那須委員：プロポーザル方式の判断はまだ正式ではないのでしょうかけれども、プロポーザルの中で、公募ですから、いわゆる業者のノウハウもあるのかというような感じがしていました。

その中でプロポーザルの審査員は我々でいいのでしょうか。

そこも含めてなのですが、今何を言いたいかというと、そういった公募の中でのプレゼンがある中での分のところも、少し業者のノウハウも、そういった意味のところもいろいろと聞いたりするような状態の中で、そういったあるべき姿というところについても学べる機会もあるのかなと。

審査という意味の中でも学べる、意味があるのかなというような感じで思っていましたということの意見でございます。

委員長：審査員ということで、先ほど事務局のお話、やはり審査員のことを聞いたのですけれども、今のところ事務局案では広聴広報委員というようなことで考えていると。

私は専門的な知識を持った人を若干入れたらそれは必要ないのかという話をしましたけれども、結果的にこのプロポーザルのやり方について、なかなかうまくできないと、分からない部分もあるものですから、市の広報もプロポーザルで今回やるそうです。

そういった中で、一関市として同じ方向で、多分プロポーザルですので、若干参考になるような形でそのうち出てくると思いますので、その辺も情報を得ながら進めていきたいと思います。

そのほか、ございますか。

岩淵典仁委員。

岩渕(典)委員：確認ですけれども、今の流れのプロポーザルか指名競争入札の違いというところで、プロポーザルは大体イメージがついたのですが、指名競争入札にする場合は、こちら側でもページ数とカラーにしてくださいというものを提案して、随意契約なり指名入札をするということをやると、プロポーザルというのはそれを基にある程度決めた上で、提案してもらったものを選ぶという、そのような違いということなのですか。

委員長：細川書記。

細川書記：そうです。

あとは見てみますと、例えば議会だより第71号の何ページの部分について、それぞれの業者で編集したものをプレゼンテーションしてくださいとか、そういった形でやっているようです。

委員長：奥州市議会のプロポーザルの資料は皆さんまだ見ていないので、奥州市議会で行っているプロポーザル方式、今回やっていますので、もうホームページに上げてやっていますので、その資料等々もそのうち、見ていただくというような形にしたいと思います。

それと、一関市のプロポーザルのやり方ということを考えながらということになると思います。

岩渕典仁委員。

岩渕(典)委員：あとは、どちらにするかという判断はこの委員会である程度決めると思うのですが、時期というのはいつ頃までにそれを決めないといけないのでしょうか。

委員長：細川書記。

細川書記：どちらにするかというのは、編集方針と同じような形で、3月上旬くらいまでに決めていただきたいです。

委員長：岩渕典仁委員。

岩渕(典)委員：アンケートの部分で大体提案いただきましたが、結果をホームページで公表ということですが、どのレベルを公表するかによって、例えば結果だけ、何人に回答を得てどうだったというだけであれば、委員長、副委員長だけの確認でもいいかもしれませんが、それに対して考察的なものまで考えるとかであれば、一度ホームページに公表する内容を広聴広報委員会で議論をしなければいけないと思うのですが、今のところの公表の内容というのはどのように考えているのかを教えてくださいませんか。

委員長：事務局で案等があればですけれども。

細川書記。

細川書記：私のほうでイメージしているのが、これまでも参考資料として見てきたほかの自治体のほうで行ったアンケート、例えばそれをグラフにしてみたりとかという形で、なるべく見やすいような形にはしてしたいとは思っております。

今のイメージはそういったざっくりとしたイメージしか持っていません。

委員長：グラフのイメージというのは皆さんにはまだいっていないのですか。
それを参考に流せば、別段集まらなくてもやってもらえると思います。
細川書記。

細川書記：イメージというのはお渡ししていません。

議会だよりの編集の関係で委員会も持ちますから、その時に合わせて確認していただきたいと思います。

委員長：岩渕典仁委員。

岩渕(典)委員：結果だけであれば正副委員長で確認してもらって、男女別、人数、世代別の結果だけであれば特にあれですけれども。

委員長：多分いろいろな意見があると思うので、決まりきって部分にはまるものもあれば、御意見を頂きますというのもあるので、それについてはいろいろあるということになるので、見ていただくことも必要かもしれないと思っていました。

改めて集まっていただくということになります。

そのほか、ありますか。

(「なし」の声あり)

委員長：ないようですので、意見交換を終わります。

議会だよりのリニューアルについては事務局案のとおり進めるということにしたいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長：異議ありませんので、さよう進めてまいります。

以上で、議会だよりのリニューアルについての協議を終わります。

次に、市民と議員の懇談会についてを議題といたします。

書記より内容について説明させます。

暫時休憩します。

(休憩 14:10～14:16)

委員長 : 再開します。

これより意見交換を行います。

各常任委員会から挙げた 19 項目については、こちらから各常任委員会にお願いして作ってもらったということですので、内容の大きさはいろいろあると思いますけれども、このとおりにまとめたということでもありますので、こちらのほうは、意見を尊重していただければいいのかと思います。

あとは、今後の進め方について、何か皆さんから意見等あれば頂きたいと思います。

猪股委員。

猪股委員 : 提言書の回答というのは求めるものなのでしょうか。

提言書ですから回答という性質のものではないかもしれないですが。

委員長 : 猪股委員が言っているとおり、提言だから回答というのは今まではもらった経緯はないのだと思います。

猪股委員。

猪股委員 : 言ったほうは、こういうことでまとめて伝えたということで、その先の話はもう、当局にいった部分については、当局がどう対応するかということで、こちらの手から離れるということでもよろしいのですか。

委員長 : 休憩します。

(休憩 14 : 18~14 : 47)

委員長 : 再開します。

意見交換を終わります。

市民と議員の懇談会については、先ほど来、話し合ったとおりに進めていきたい。

特にも、今後の進め方については、議員全体会を開いて議員全員に理解いただいて、そして議長から市長への提言書を提出していただくというような流れで進めたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」 の声あり)

委員長 : 異議ありませんので、さよう進めてまいります。

次に、次回の委員会について協議します。

暫時休憩します。

(休憩 14 : 48~14 : 48)

委員長 : 再開します。

次回の委員会については、アンケート結果がまとまってから調整することにしたと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 : 異議ありませんので、さよう決しました。
以上で、予定した案件の協議を終わります。
以上で、本日の委員会を終了します。
御苦労さまでした。

(午後 2 時 49 分 終了)